

2011年 年頭ごあいさつ

セブン&アイ・ホールディングス 会長兼最高経営責任者（CEO） 鈴木敏文

流通業を取り巻く経済環境は昨年も厳しく、本年も依然として消費回復の歩みは遅々としたものになると懸念されます。しかし、セブン&アイ *HLDGS.*は、厳しい経営環境にあっても各社の着実な改革と挑戦への努力により、業績を回復させつつあります。

セブン-イレブン：一昨年の秋以降、生活環境の変化に合わせて商品・サービスの見直しを進め、「近くて便利」を徹底的に追求してきた結果、昨年の既存店の売上高は一昨年を上回る実績を上げています。

イトーヨーカドー：GMS 業態全般が険しい状態にある中、社員全員が従来の仕事を根本から見直す決意をし、昨年は新しい店舗スタイルや売場の展開などを進めてきました。今年はさらに、過去の経験을捨てて新たな挑戦を進めていくことで、いまのお客様ニーズに合った GMS 業態の確立へと歩みを進めていきます。

そごう西武：百貨店業態も一般的に厳しい環境にあると言われていますが、上質な商品・サービスへのニーズをとらえ、自己差異化を徹底することで、今後とも成長し続ける業態となり得ると確信しています。こうした考えに立って西武池袋本店の改装を実施し、食品部門ではグループの力を結集した改革を行うことで、改装前に比べ2割の売上成長を果たすことができました。さらに、衣料・住居部門も業績を伸ばすなど、「お客様ニーズの変化に合わせて手を打ち続けければ成果が生まれる」ことを実証しています。

セブン&アイ・フードシステムズ：レストラン業態について根本から見直し、いまの生活に合わせたフードサービスの再建に取り組んでまいりました。現在、その着実な努力が実を結び、今年は新たな飛躍の年となるものと期待されます。

ヨークベニマル、ヨークマート：スーパーマーケット事業も、今、お客様が求めている商品・サービスへの対応を徹底的に追求し、昨年後半以降、業績を伸ばしています。今年も改革の手をゆるめず、さらに変化への対応を図ることで、より大きな成果を上げることができると考えています。

セブンネットショッピング：一昨年、総合的なネット通販サイトを開設し、昨年は取り扱い商品の拡充、サービスやシステムの改革等を進めて、着実にお客様の支持を拡大しています。今年も、さらにグループ内外との連携を深め、「リアルとバーチャルの融合」による新たな商品・サービスの創造に挑戦することで、よりいっそうの成長が期待されます。

以上のように厳しい環境の中でも、グループが一体となって手を打ち続けることで、2010年度は着実な利益成長が見込まれます。本年もグループ全社が協力し合い、シナジー効果を発揮することで、それぞれの事業改革を力強く推し進め、セブン&アイ *HLDGS.*のさらなる飛躍の年としてまいります。

(2011年1月4日 年頭朝礼あいさつ要旨)